

## 広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	ボルテゾミブによる下痢の発現状況とその対策についての検討
研究責任者 (所属科名)	武井 秀樹 (薬剤部)
本研究の目的・意義	ボルテゾミブ（以下、BOR）は多発性骨髄腫の治療におけるキードラッグである。BOR の代表的な有害事象として心障害や末梢神経障害が挙げられるが、当院において重篤な下痢により BOR の治療が中止となった症例があった。そこで、当院において BOR による治療を行った患者を対象として、対象患者のうち下痢が発現した患者の平均年齢や下痢の発現率の算出、Grade の評価や発現傾向の検討を行った。また、これまでの当院における BOR による下痢の対策を踏まえ、今後の薬剤師の関わりについて検討を行った。
調査方法・調査期間	調査期間：2014年4月～2020年2月の5年11ヶ月 研究期間：2020年4月1日～2020年12月1日
該当資料・データ	※対象となる患者様 当院において入院でボルテゾミブの治療をされた患者様 65 名 ※利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、患者背景、検査データ、経過表、処方歴を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：082-815-5211（内線：3461） 担当者：武井 秀樹（薬剤部）
備考	